

自治医科大学附属さいたま医療センター

樹木等管理業務仕様書

学校法人 自治医科大学

目次

1 共通仕様書

2～10 業務仕様書

11 その他

[添付資料]

- 資料 1-参考工程表
- 資料 2-職員住宅配置図
- 資料 3-センター敷地内剪定工範囲図
- 資料 4-センター敷地内除草・芝刈工範囲図
- 資料 5-第1職員住宅対象範囲図
- 資料 6-第2職員住宅対象範囲図
- 資料 7-第3職員住宅対象範囲図
- 資料 8-第4職員住宅対象範囲図
- 資料 9-第5・7職員住宅対象範囲図
- 資料 10-第6職員住宅対象範囲図
- 資料 11-第8職員住宅対象範囲図
- 資料 12-第9職員住宅対象範囲図
- 資料 13-第10職員住宅対象範囲図
- 資料 14-第11職員住宅対象範囲図
- 資料 15-（一部周辺地）中川分水通り図

1 共通仕様書

- (1) 当該業務は、自治医科大学附属さいたま医療センター（以下発注者）の樹木等について常に良好な状態を維持するため、管理業務を受注者に委託することにより、適切に維持・管理することを目的とする。
- (2) 当該業務は、自らが履行することとする。但し、予め書面により発注者の承認を得たときはこの限りではない。
- (3) 受注者は、当該業務に従事する者の中から、業務責任者1名を選出すること。
- (4) 業務責任者は、業務全般を統括し、受注者を代表して発注者と適宜に詳細な調整をすることにより、業務の円滑な遂行を図り、発注者の業務に支障を与えないようにすること。
- (5) 発注者は、受注者の業務従事者の勤務状態不良、その他の理由により発注者の運営に支障をきたす恐れがあると認めるときは、受注者に業務従事者の変更を命じる場合がある。
- (6) 受注者は、業務遂行に当たって発注者又は第三者に損害を与えた場合、受注者が責任をもってその処理、解決に当たること。
- (7) 業務に係る費用は受注者負担とする。また、作業車のセンター敷地内に入場する際の駐車料金は、センター内駐車場料金で定められたとおりの金額を支払うこと。なお、職員住宅については、駐車料金は発生しない。
- (8) 業務時間は、平日8時30分から17時00分までとする。ただし、発注者の担当職員へ書面にて申し出を行い承諾を得た場合はこの限りではない。

2 除草工

(1) 手取り除草工

- ア 芝生地等では、芝の根や花苗を傷めないように、雑草を根から抜取ること。
- イ 低木寄植内部 及び 地被類の部分、株苗を傷めないように、雑草を根から抜き取ること。
- ウ 抜取った雑草は、速やかに処分すること。

(2) 機械除草工

- ア 刈高、仕上げの程度については、事前に発注者の担当職員と協議し承諾を得ること。
なお、機械刈りに先立って、作業場所の塵等の除去をすること。
- イ 作業場所で樹木、植物等の植えてある場所は、幹や枝に傷をつけないよう十分に注意して幹の根元まで刈り取り、清掃すること。
- ウ 機械刈りによる場合においても、樹木や器物等支障物の周辺は補正手刈りを行うこと。
- エ 作業時期及び作業日は、資料1 参考工程表を参照のうえ策定し、発注者の担当職員の承諾を得ること。

3 芝刈工

- ア 作業にあたっては、事前に刈込み高を発注者の担当職員と協議した後、芝刈りを行うこと。
- イ 機械（エンジン付）芝刈機及び肩掛式草刈機等刈むら、刈残しのないよう均一に刈込むこと。

- ウ 作業場所で樹木、植物等の植えてある場所は、幹や枝に傷をつけないよう十分に注意して幹の根元まで刈り取り、清掃すること。
- エ 機械刈りによる場合においても、樹木や器物等支障物の周辺は補正手刈りを行うこと。
- オ 作業時期及び作業日は、資料1 参考工程表を参照のうえ策定し、発注者の担当職員との承諾を得ること。

4 刈草・刈芝等処理工

発生した刈草、刈芝等は風などにより散乱しないよう寄せ集め、運搬、清掃等を行い受注者の負担で全て搬出、処分すること。

5 樹木剪定工

- ア 樹木の剪定、整枝は、樹種本来の形を維持すること。
- イ 剪定した枝は、速やかに処理し、剪定した樹木周辺の清掃を実施すること。
- ウ 樹冠形成上、不必要な枝（徒長枝、弱枝、ふところ枝、からみ枝等）、枯枝、胴吹枝を除去し、剪定すること。
- エ 軽剪定にあたっては、樹冠内部に陽光や風が入るようにして、樹形保持と樹勢の均衡をはかるように行い、過度の剪定とならないようにすること。
- オ 骨格剪定にあたっては、樹高、樹冠を一定の形に整えるとともに、次期繁茂期の緑のために、骨格となる枝条の発育が均斉となるよう剪定すること。
- カ 寄植及び生垣類の剪定は、枯れ死した枝等の除去も行うこと。
- キ 剪定にあたっては、樹木の健全な育成を図るばかりでなく、美観も高めるように留意して剪定を行うこと。

6 刈込工

- ア 作業にあたっては、事前に刈込みの度合い、形状等を発注者の担当職員と協議した後に施工すること。
- イ 刈込樹木等の健全育成のため、枯損枝の切取り、密生箇所の切りすかし、疎な部分への枝の誘引等を行うこと。
- ウ 刈り取った枝葉が樹冠内等に残らないよう、全て取去ること。
- エ 刈り取った枝葉はすみやかに処分し、刈り込んだ樹木等の周辺の清掃を実施すること。
- オ 花木類の刈込みについては、花芽分化の時期に十分注意して行うこと。

7 剪定枝・刈込枝葉等処理工

発生した剪定枝、刈込枝葉等は風などにより散乱しないよう寄せ集め、運搬、清掃等を行い受注者の責任で全て処分すること。

8 樹木施肥工

- ア 施肥は、樹木の生育過程で不足する肥料を補うとともに、土壌の改良を図ることを目的とする。

- イ 肥料、使用量は、原則 化成肥料 8-8-8 を使用し、1㎡あたり低木・地被・芝：30 g、中高木：50～100 g を目安に環境条件により適時適正な量を施肥すること。

9 薬剤散布

- ア 薬剤散布に当たっては、当該作業従事者の健康維持に留意し、使用済みの空瓶、空袋等は、事故が発生しないように処理すること。
- イ 作業は、近隣に影響が少ない日時に行うこととし、発注者の担当職員と協議のうえ行うこと。
また、作業日が強風な場合には、発注者の担当職員と協議のうえその指示に従うこと。
- ウ 害虫が発生した場合は、対象エリアの当初予定の回数と調整し、発注者の担当職員と協議し、最優先で処置を行うこと。

10 清掃工

- ア 集積したごみは、風などにより散乱しないよう寄せ集め、運搬、清掃等を行い、受注者の責任で処分すること。
- イ 集積したごみ、落葉等の処分は、刈草、刈芝等処分工に準じて行うこと。

11 その他

- ア 敷地内には、電灯設備、標識、埋設管等があるため注意して作業を行うこと。
- イ 芝刈、除草作業にあたっては、小石等が飛散しないよう十分に注意して、必要に応じて飛散防止措置を施すこと。
また、敷地外に飛散させた場合は、受注者の責任において取り除くこと。
- ウ 飛散により損害が発生した場合は、全て受注者の負担により処理すること。